

# 第42期中間報告書

2020.4.1～2020.9.30

## 株主メモ

Shareholders Information

### 株主事務手続

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
期末配当支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当支払株主確定日	毎年9月30日
公告方法	電子公告(当社ホームページに記載いたします) <a href="https://www.kyoritsugroup.co.jp/">https://www.kyoritsugroup.co.jp/</a> やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-232-711(通話料無料) 受付時間：平日9:00～17:00
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 住所変更、配当金振込指定・変更、買取・買増請求に必要な各用紙、及び株式の相続手続き依頼書のご請求は、上記電話番号までお問合せください。

#### 《ご注意》

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にててもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

#### お知らせ ● 経営情報Monthly Reportについて

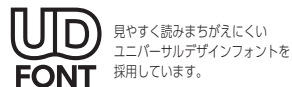
経営情報Monthly Reportは、株主の皆様へ、より当社をご理解いただくとともに、皆様のご意見を経営に反映させていただくことを目的として、毎月当社ホームページ上で掲示しています。ご参考にしていただきたく存じます。



〒101-8621 東京都千代田区外神田二丁目18番8号  
 TEL：03-5295-7777(代表) FAX：03-5295-2056  
 ホームページ <https://www.kyoritsugroup.co.jp/>



証券コード：9616



## 株主の皆様へ

To Our Shareholders



代表取締役社長  
 上田 卓味

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループへの格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、世界規模での新型コロナウイルス感染症の拡大により、景気の減速傾向が一層強まる状況となりました。5月25日の

緊急事態宣言解除後は、経済活動が段階的に再開されておりますが、それに伴う新たな波も懸念され未だ先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、寮事業は、海外留学生来日延期などがあり、期初稼働率は93.7%と前年より若干のマイナスにとどまっていたスタートとなりました。一方、ホテル事業は、インバウンドや、外出自粛要請による出張及び国内レジャー需要減少により稼働率が4月、5月に大きく低下しましたが、6月以降は国内需要が上昇に転じ、9月度につきましては、ドミーイン事業において、国内宿泊者数が前年を上回り、リゾート事業においても既存事業所のRevPAR\*が前年を上回って推移するなど回復へのピッチを速めております。

また、感染拡大防止策の一環として、一部のホテルや外食店舗を一時休業しておりましたが、順次営業を再開し、お客様ニーズの吸収を図っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は56,250百万円(前年同期比40.0%減)、利益は、当第1四半期連結会計期間での赤字から反転し、営業損失は4,486百万円(前年同期は9,066百万円の利益、当第2四半期連結会計期間は34百万円の利益)、経常損失は4,486百万円(前年同期は8,972百万円の利益、当第2四半期連結会計期間は318百万円の利益)と、当第2四半期連結会計期間では黒字を計上し、反転攻勢への歩みを確実なものとしております。なお、今後の成長を展望し、一層の体質強化を図るべく事業の見直しを進めた結果、韓国の1事業所並びにグローバルキャビン(簡易型ホテル)等を閉鎖いたしました。それに伴う特別損失が発生したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は7,856百万円(前年同期は6,114百万円の利益)となりました。また、2022年3月期を最終年度とする中期経営計画「Kyoritsu Jump Up Plan」につきましては、見直しをさせていただくこととし、準備が整い次第公表させていただきます。

まだ不明瞭な時期が続きますが、全グループ一丸となってこの困難に屈することなく、最大限邁進する所存でございます。

引き続き、ご支援賜りたく、心よりお願い申し上げます。

\*RevPAR(運営上重要な指標で、客室稼働率×平均客室単価により算出される)

# 連結財務諸表<要約>

Consolidated Financial Statements

## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 2019年9月30日現在	当第2四半期 2020年9月30日現在	前 期 2020年3月31日現在
資産の部			
流動資産	47,782	56,613	50,590
固定資産	160,537	170,068	165,904
有形固定資産	107,382	112,571	109,450
無形固定資産	3,402	3,871	3,918
投資その他の資産	49,753	53,626	52,535
繰延資産	634	548	591
資産合計	208,955	227,230	217,086
負債の部			
流動負債	55,168	84,185	71,080
固定負債	69,416	67,793	62,050
負債合計	124,584	151,978	133,131
純資産の部			
株主資本	84,751	75,957	84,706
資本金	7,960	7,964	7,961
資本剰余金	12,816	12,820	12,817
利益剰余金	64,326	55,528	64,281
自己株式	△351	△356	△355
その他の包括利益累計額	△381	△705	△751
その他有価証券評価差額金	213	△60	△117
為替換算調整勘定	△603	△612	△597
退職給付に係る調整累計額	8	△32	△36
純資産合計	84,370	75,251	83,954
負債純資産合計	208,955	227,230	217,086

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

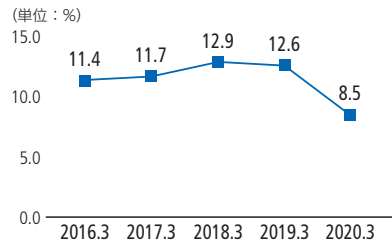
科 目	前第2四半期累計 2019年4月 1日から 2019年9月30日まで	当第2四半期累計 2020年4月 1日から 2020年9月30日まで	前 期 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで
売上高	93,815	56,250	169,770
売上原価	72,780	52,137	135,554
売上総利益	21,034	4,113	34,215
販売費及び一般管理費	11,967	8,599	23,009
営業利益又は営業損失(△)	9,066	△4,486	11,205
営業外収益	281	799	1,937
営業外費用	375	800	643
経常利益又は経常損失(△)	8,972	△4,486	12,499
特別利益	219	152	510
特別損失	5	4,953	2,316
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	9,187	△9,287	10,693
法人税等	3,073	△1,431	3,766
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,114	△7,856	6,927
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	6,114	△7,856	6,927

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

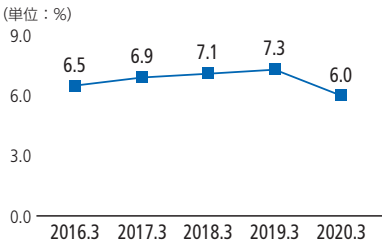
(単位：百万円)

科 目	前第2四半期累計 2019年4月 1日から 2019年9月30日まで	当第2四半期累計 2020年4月 1日から 2020年9月30日まで	前 期 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,924	△13,424	16,460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,842	△6,172	△22,904
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,747	22,388	8,208
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42	△9	△41
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,787	2,782	1,722
現金及び現金同等物の期首残高	16,070	17,792	16,070
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	19,857	20,575	17,792

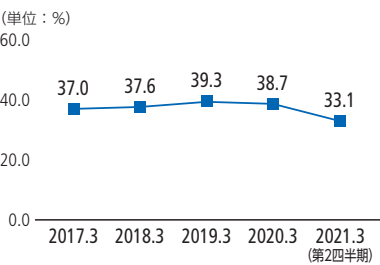
## ROE(自己資本当期純利益率)



## ROA(総資産経常利益率)



## 自己資本比率



# 会社概要 (2020年9月30日現在)

Corporate Data

商 号 株式会社共立メンテナンス

本社所在地 東京都千代田区外神田二丁目18番8号

設 立 1979年9月27日

資 本 金 79億6,448万6,119円

従 業 員 数 5,774名(連結)

支 店 札幌支店・仙台支店・名古屋支店・京都支店・  
関西支店・九州支店

## 国内事業所

	関東・ 甲信越	北海道	東北	東海・ 北陸	近畿	中国・ 四国	九州・ 沖縄	総計
学生寮・社員寮・ ドミール	338	22	24	33	63	4	22	506
受託寮	161	10	8	14	59	－	23	275
リゾート	10	3	2	9	4	3	2	33
ドーミーイン	22	12	9	10	11	10	7	81
シニア向け住宅	7	1	－	－	－	－	－	8
合 計	538	48	43	66	137	17	54	903

※上記のほか、海外にビジネスホテルが1棟ございます。(※韓国共立メンテナンス)

## 役 員

代表取締役会長	石 塚 晴 久	取 締 役	横 山 博
代表取締役社長	上 田 卓 味	取 締 役	百 瀬 利 恵
常 務 取 締 役	井 上 英 介	社 外 取 締 役	久 保 成 人
常 務 取 締 役	中 村 幸 治	社 外 取 締 役	平 田 恭 信
常 務 取 締 役	相 良 幸 宏	社 外 取 締 役	早 川 貴 之
常 務 取 締 役	石 井 正 浩	社 外 取 締 役	小 田 恵 子
取 締 役	伊 藤 寛	取 締 役 (監査等委員)	池 田 淳 一
取 締 役	鈴 木 真 樹	社 外 取 締 役 (監査等委員)	宮 城 利 章
取 締 役	君 塚 良 生	社 外 取 締 役 (監査等委員)	川 島 時 夫

## 事業の状況

### Segment Review

世界規模での新型コロナウイルス感染症の拡大により、景気の減速傾向が一層強まる状況となりましたが、2020年5月の緊急事態宣言解除後、経済活動が段階的に再開されるなか、当第1四半期連結会計期間での赤字から反転、当第2四半期連結会計期間では黒字を計上し、反転攻勢への歩みを確実なものとしています。

## 寮事業

売上高234億57百万円  
前年同期比 6.8%減

### ■学生寮事業

新型コロナウイルス感染症拡大により、海外からの留学生の来日延期などの影響を受けました。コロナ下における寮生様への経済的支援の一環として、寮費の無利子貸付を行う『新型コロナウイルス就学支援プログラム』を開始しました。



### ■社員寮事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、企業様の新入社員研修需要が減少しました。



### ■ドミール事業

ワンルームマンションタイプ寮として、提携学校・提携企業様からの入居斡旋紹介等に対応いたしました。

### ■受託寮事業

「日本一の下宿屋としての運営力」により差別化を図って展開いたしました。

## ホテル事業

売上高184億16百万円  
前年同期比 56.8%減

新型コロナウイルス感染症拡大により、稼働率は4月、5月と大幅に低下いたしました。しかし、6月以降『Go To トラベルキャンペーン』をはじめとする国や自治体による施策や、新型コロナウイルス感染症対策を睨んだ当社の新商品などがご好評いただき、稼働率は急回復いたしました。また、感染拡大防止のため一部事業所を一時休業しておりましたが、順次営業を再開し、お客様ニーズの吸収を図っております。

### ■ドリーミーイン事業

東京や大阪などの主要都市圏で回復に時間を要しているものの、全国平均では回復傾向にあり、9月の国内宿泊者数は前年を上回りました。今後も客室単価の引き上げを進めながら早期の回復を目指し、テレワーク用オフィスや新型コロナウイルス感染防止対策としての長期滞在型プランなど新商品開発を進めてまいります。

《関連グループ会社》(株)韓国共立メンテナンス



天然温泉 凌雲の湯 御宿 野乃 浅草

### ■リゾート事業

『Go To トラベルキャンペーン』の効果に加え、国内旅行者をターゲットとしたタクシーによる送迎付きプラン等、新商品の営業推進が功を奏したこともあり、客室単価が前年を上回ったまま、稼働率が大幅に上昇しました。9月においては既存事業所のRevPAR(客室稼働率×平均客室単価)は前年を上回り、ホテル事業を力強く牽引しております。



## 総合ビルマネジメント事業

売上高73億21百万円  
前年同期比 9.3%減

改修工事の減少などにより、減収減益となりました。

《関連グループ会社》(株)ビルネット・(株)セントラルビルワーク

## フーズ事業

売上高22億46百万円  
前年同期比 38.9%増

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ホテルレストランの稼働減少や、感染拡大防止のために外食店舗を一時休業としたことなどの影響により、減収減益となりました。

《関連グループ会社》(株)共立フーズサービス・(株)共立フーズビジネス

## デベロップメント事業

売上高77億93百万円  
前年同期比 33.5%増

不動産流動化を実施しなかったことなどにより、減収減益となりました。

《関連グループ会社》(株)共立エステート

## その他事業

売上高76億77百万円  
前年同期比 12.2%増

その他事業は、シニアライフ事業(高齢者向け住宅の管理運営事業)、PKP事業(自治体向け業務受託事業)、単身生活者支援事業、保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業となりますが、シニアライフ事業、PKP事業は着実に利益改善しております。

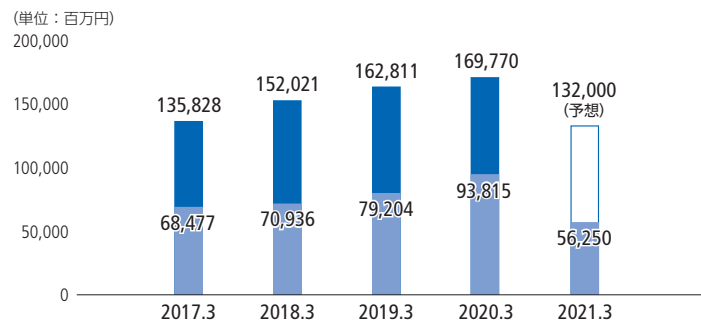
《関連グループ会社》(株)共立トラスト・(株)共立保険サービス・  
(株)日本プレースメントセンター・  
(株)共立ファイナンシャルサービス



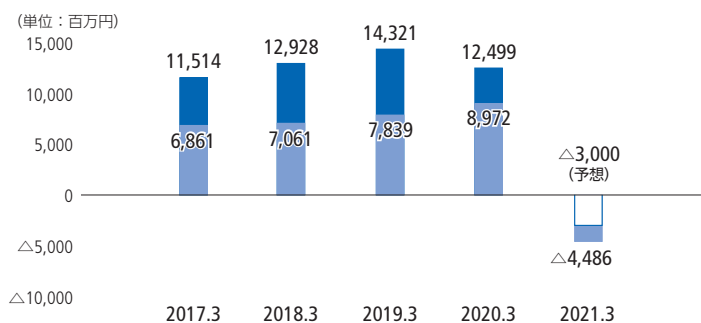
## 連結財務ハイライト

### Consolidated Financial Highlights

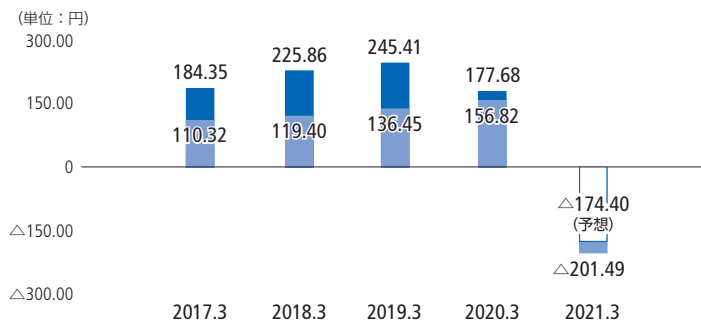
#### 売上高



#### 経常利益又は経常損失

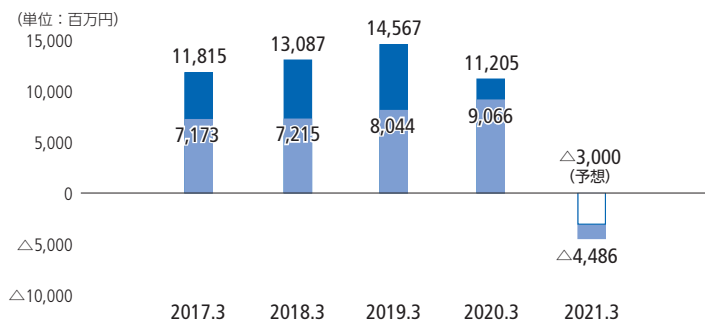


#### 1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失\*

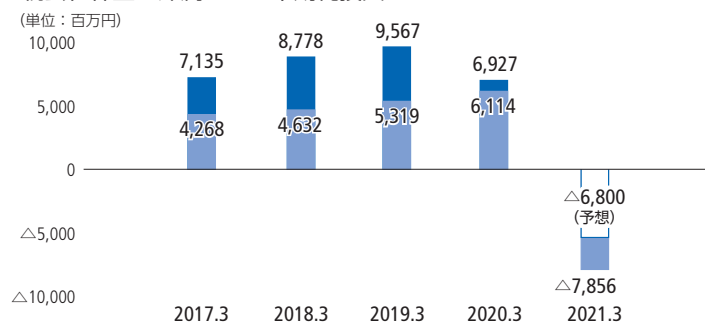


※当社は、2017年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2017年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

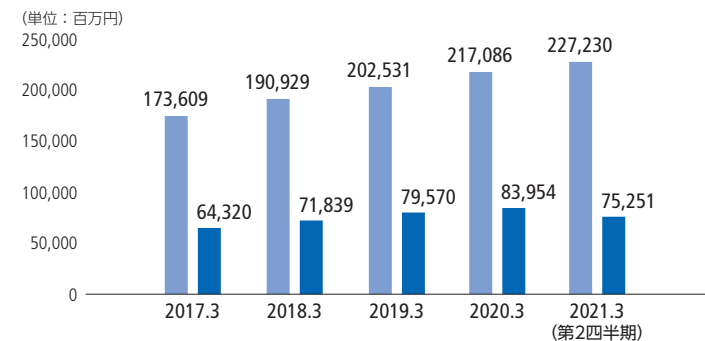
#### 営業利益又は営業損失



#### 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失



#### 総資産 / 純資産



## 株式の状況 (2020年9月30日現在)

### Stock Information

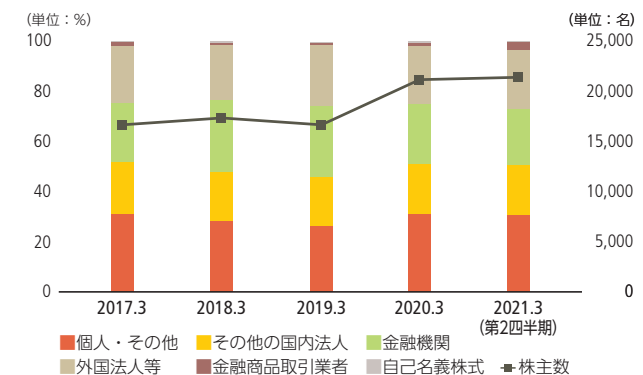
発行可能株式総数…………… 59,000,000株  
 発行済株式総数…………… 39,219,653株  
 株主数…………… 21,452名

#### 大株主

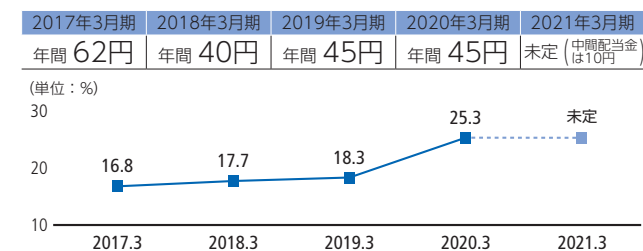
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
㈱マイルストーン	4,242	10.88
一般財団法人共立国際交流奨学財団	2,037	5.22
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,765	4.52
㈱日本カストディ銀行(信託口)	1,445	3.70
石塚 晴久	1,052	2.70
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB 常任代理人メリルリンチ日本証券(株)	965	2.47
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON TREATY ACCOUNT 15.315 PCT 常任代理人 香港上海銀行東京支店	940	2.41
㈱三井住友銀行	792	2.03
JPモルガン証券(株)	751	1.92
GOLDMAN SACHS & CO.REG常任代理人ゴールドマン・サックス証券(株)	685	1.75

(注) 1. 持株比率は自己株式(229千株)を控除して計算しています。  
 2. 持株比率は小数点第二位以下を切り捨てて表示しています。

#### 株主数・所有者別株式分布状況の推移グラフ



#### 配当金と配当性向(連結)



※当社は、2017年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2017年3月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。